

# 科目名 診療画像機器工学実験

1単位 45時間 昼間部2年 前・後期 担当講師 内田 盛康、阿部 克弘

## 教育目標

診療画像機器に関する基礎知識を前提として、使用する装置・器具・機能及び、操作法について教授する。

使用教材 新医用放射線技術実験（臨床編） 共立出版

一回あたりの学生数 2/3クラス 班の構成 3班 一班あたりの学生数 約13名

出欠確認方法 点呼 試験 無 評価方法 レポート

## 授業概要（前・後期）

項目1 X線用グリッドの物理的特性

項目2 X線用グリッドの幾何学的特性測定

項目3 超音波診断装置の特性、分解能の測定、Bモードスライス幅の測定

項目4 インバータ装置の特性①（共振形）

項目5 乳房X線装置の特性、管電圧の測定、AECの測定

項目6 インバータ装置の特性②（非共振形）

以上の項目をローテーションにより行う。

前期14回、後期9回

## 【実務経験】

病院の核医学検査部門やPET 検診に10年以上従事した臨床経験をもとに、核医学検査技術について授業を行います。また、核医学専門技師としての知識や臨床で研究した内容なども織り交ぜて講義を進めていきます。

（阿部）